

海水から塩を作る

ワークショップ

講師 阪田清子（美術家）
齋藤文夫（郷土史家・写真家）

8/27（土）
13:00-15:00

かつて、新潟の浜辺では海水から塩が作られていました。対岸を考える展示会の開催にあわせて、対岸との間に広がる海と人間のかかわりを探ります。

作った塩はお持ち帰りいただけます。
浄化作用のある塩は、お守りにも！

水と土の文化創造都市 市民プロジェクト
想像しよう——海にかかる橋を
金時鐘の長篇詩集「新潟」をめぐって

「阪田清子展 対岸—循環する風景」＊ 関連の催し

＊2016 8/23-10/2 9:00-21:00 会場:砂丘館
休館日:月曜日(9/19は開館)、9/20・23

今回の展示では、海水から作られた塩の結晶が作品の素材で使われています。
浜辺へ海水を汲みに行き、それを煮て、阪田さんと塩を作ります。

ワークショップ後、齋藤文夫さんから新潟の塩作りについてお話をお聞かせします。

阪田清子(さかた きよこ)

現代美術家。1972 年新潟県生まれ。沖縄県立芸術大学で学び、現在も沖縄を拠点に活動。新潟と異なる歴史、風土を持つ沖縄という場に関わりながら、新潟生まれの自身と沖縄の距離も意識した制作を行う。

齋藤文夫(さいとう ふみお)

1933 年旧巻町生まれ。76 年「写真のさいとう」開館。98 年旧巻町福井旧庄屋佐藤家の保存活動をはじめ。2000 年にはNPO 法人化。現在は同法人理事。「火焚きじいさん」として管理を行う。

参加料: ¥1,000 定員: 20 名

会場: 砂丘館

申し込み: 電話・ファックス・Eメールで砂丘館へ(受付開始日 8 月 7 日)

＊ファックス・Eメールでお申し込みの方はお名前、連絡先(電話番号)、人数を併記して下さい。

＊砂丘館から浜まで屋外を歩きます(往復 30 分ほど)。

日差しよけなどのご準備をお願いします。

＊開始 10 分前にはお集まり下さい。

砂丘館

旧日本銀行新潟支店長役宅

〒951-8104 新潟市中央区西大畑町5218-1

tel./fax. 025-222-2676

sakyukan@oz03.piaa.or.jp

指定管理者: 新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体



会場には駐車場がありません。また、周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用下さい。
●新潟駅からのバス: 成瀬町線 C2 系統又は観光循環バス「西大畑線上」バス停下車徒歩1分
●新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は、駐車券掲示にて1時間分の無料券を差し上げます。



水と土の
文化創造
都市

主催: 砂丘館

(指定管理者 新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体)

ギャラリートーク

「対岸—制作風景と作品について」

お話: 阪田清子 聞き手: 大倉宏(砂丘館館長)

8 月 28 日(日)14:00-15:30

参加料: ¥500 予約不要(直接会場へ)

会場: 砂丘館

私たちは砂丘館の自主事業を
応援しています。

やぐち株式会社

新潟ビルサービス

NSGグループ

丸屋本店

株式会社ナレッジライブ

藤田金庫

郷土の文化に親しむ会